令和８年度第１回生駒市国民健康保険運営協議会会議録（要旨）

１．日時　令和８年８月２０日（木）午後２時～３時２０分

２．場所　生駒市役所　４０１・４０２会議室

３．出席者

（委員）

高取会長・片山委員・伊木委員・惠比須委員

・山岡委員・中栖委員・渡邊委員・田中委員

・西川委員・岸尾委員・佐井委員

（事務局）

岡村子育て健康部長・小林国保医療課長・鈴木国保係長

・坂本主査・井貝主任

（傍聴人）

なし

４．議事内容

（１）開会

（２）会長挨拶

（３）議事録署名委員について

（４）審議案件

①令和７年度生駒市国民健康保険特別会計決算（案）について

②その他

（６）閉会

５．審議結果

①令和７年度生駒市国民健康保険特別会計決算（案）について

承認

６．質疑等

①会議の公開・非公開について

【事務局】本会議は「附属機関及び懇談会の会議の公開に関する基準」第２条に基づき、原則公開となっておりますので、公開とさせていただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。

【委員】異議なし。

【事務局】本会議は公開とさせていただきます。

②議事録署名委員について

【会長】議事録署名委員の選任でございますが、会長である私から指名させていただいてよろしいでしょうか。

【委員】異議なし。

【会長】中栖委員と渡邊委員のお二人にお願いいたします。各委員におかれましては、後日、事務局が議事録を作成次第、署名をいただきますので、よろしくお願いいたします。

③令和７年度生駒市国民健康保険特別会計決算（案）について

【事務局】それでは、令和７年度生駒市国民健康保険特別会計決算（案）につきまして、説明させていただきます。

資料説明

以上でございます。ご審議よろしくお願いします。

【会長】ただ今事務局から説明がございましたが、委員の皆様何か質問等はございませんか。

【委員】現年度課税分の収納率が県基準よりも低いということですがその点について原因はありますか。

【事務局】県基準の９６％は、平成３０年度からの都道府県単位化の際に、市と町村のバランスを考えて県が設定した目標率です。ただ、コロナのあたりで収納率の伸びが、設定した当初から状況が変わってきておりまして、なかなかどこの市も到達が難しくなってきています。そんな状況で令和８年度を迎えましたので、９月に市町村連携会議があるのですが、収納率について議論等される予定です。

【事務局】補足ですが、９６％を達成しているのは２市で、収納率の順位では生駒市は上から３番目といったところです。

【会長】ありがとうございました。他にご質問はないですか。

【委員】国保の医療費、１人当たりの医療費の推移はどんな感じですか。

【事務局】令和になってから右肩上がりです。若干下がる年もありましたが、決算書ベースで令和６年度は４１２，６１６円、令和７年度については４２８，０５２円で３．７％ほど伸びております。

【委員】その中で高額な医療といいますか、結構な件数があると思うのですが。

【事務局】決算書ベースでありますが、高額療養費の給付件数が１５，３３３件、金額は８７７，０５７，６３４円です。

【委員】高額な医療費はやっぱり抗がん剤の関係や昔は透析とかで、というようなことも言われていた時期がありますけどもどのような傾向がありますか。

【事務局】すみません、細かなデータはとれていませんが、高額な医薬品が出てきていますので、それの影響はあるのかなと思います。

【事務局】古い資料ですが、データヘルス計画の時に分析したもので、令和４年度の４月から３月の一人あたりの高額レセプトの疾病分類を見ますと、「その他の肝疾患」「白血病」「貧血」となっております。

【委員】被保険者数は、団塊の世代が全て後期高齢者に移行したのでこれから減っていくと思われますが、減少のスピードはどうなるでしょうか。

【事務局】後期高齢者に移行する山は超えています。令和４年度がピークで年間１，７７２人いましたが、令和７年度は１，３３５人です。それでも１，４００人ほどいますので、毎月１００人ほどは７５歳に到達していらっしゃいます。また、社会保険の適用範囲が拡大していますので、国保被保険者は減ってくるのではないかといわれていますが、生駒市はそこまで大きく減っていません。

【会長】保険給付費は昨年度と比較すると減っているのに、国保税の収入は若干増えている。これはどういうことですか。

【事務局】所得が今全国的に賃上げなどで見直されて上がっていますので、その影響もありますが、収税課が頑張ってくれて収納率が少し伸びたこともあって、若干増えているところであります。

【会長】ありがとうございました。他にご意見はないですか。

【委員】特になし。

【会長】それでは、本案件については、承認することといたします。

④その他

【事務局】それでは、令和７年度の保健事業の実施状況、データヘルス計画中間評価のスケジュールについて説明します。

資料説明

【会長】ただ今事務局から説明がございましたが、委員の皆様何か質問等はございませんか。

【委員】特定健診受診率６０％を国が目指しているところで、対象者に対して６割ということですが、その受け皿はどんな感じなのでしょうか。

【事務局】受けていただける場所としましては、県内医療機関で６００ヶ所以上あります。集団健診に関しましては、日曜日しか受けられないという仕事をされている方の受け皿としてやっていますが、土日含めて３００人の定員ですので、主に個別の健診で受けていただくことになっています。県内で６００ヶ所、市内で４０ヶ所余りありますので、受け皿としては充分と思っています。

【委員】年度末になると割とどこも一杯で、という状況になっているかと思うのですが、これからぐっと受診率を伸ばしていこうとすると、市内で目一杯集団含めてやってもらって、その後は市外でご案内することになりますか。

【事務局】生駒市の方は、住まれる地域によって奈良市や平群町で受診され

る方もいらっしゃいます。基本的に主治医のところで受けていただける体制を整えております。市内じゃないといけないという形ではないです。６月から受けていただけるので受けていただけたらと思いますが、現状６月の受診者が少なく、年度末の駆け込み受診が多いです。

【会長】特定保健指導のオンラインですけど、それが一般化されるとハードルが下がるのでしょうか。

【事務局】市でやっている会場でやるのが難しい方にはオンライン(zoom)でもできますよ、という形でやっています。特定保健指導は対面でやる必要があるので、メールや電話ではできません。利用者としてはやはり高齢の方が多いので、オンライン環境ですとか、準備が難しいのか利用になられる方がいらっしゃらないのが現状です。

【会長】特定健診で引っかかったら特定保健指導に誘導されて指導を受けると思うのですが、その時に検査データに基づいて指導されるのではないのですか。

【事務局】保健指導は健診データに基づいてしています。ご本人様に結果が届くのは紙ベースなので、結果をオンラインで送ったり、といったやり取りをする仕組みではないです。

【会長】保健指導って、何か集団で講義を受けてというイメージがあるのですが。

【事務局】生駒市は個別の指導を希望される方が多いです。初回面接１時間の中で、ご自身の数値をどう改善していくかというところをお話しすることになります。目標を立てていただいて３か月間活動するのですが、その中で運動の機会を提供するということで、コナミスポーツやきらめきを使っ

ていただけるチケットの提供であったり、月１回運動教室という形で健康運動指導士が実施する集団運動教室を実施しています。運動も自分で頑張りすぎると痛めてしまうこともありますので、きちんとした運動の形をお伝えするために、基礎講座という形で１時間の講座を、理学療法士の方で提供しています。

【会長】運動教室の参加率の計算について、分母が受診対象者全数だと参加率が小さすぎて、これが何を示す資料なのか読み取れないです。せめて、分母を特定保健指導対象者数にするなどしてほしいです。

【事務局】おっしゃるとおり数値が小さく、読み取りが難しいですね。資料として、どのような資料が作成できるか検討します。

【委員】医療費が伸びている、という話になりますが、診療報酬改定がプラス改定されたといっても、そのプラスになるための条件が非常に厳しく、また薬価はどんどん下がっているので、我々の売り上げはむしろ減っているところで厳しい状況です。ジェネリック医薬品の推進のため窓口で時間を割いて患者さんに説明して医療費を削減できるよう努めているのに、薬価は下がっても保険者の１人当たり医療費は増加。いったいどこが原因で医療費が伸びているのか分析なり検証が必要だと思います。レセプトデータの高額トップ何件かのものから何かしら傾向が分かるのでは。

【事務局】それは確かにおっしゃるとおり。ただ、レセプトデータの抽出、分析となると国保連合会に委託して高額な手数料を取られるため、条件を細かく設定するなどかなり綿密な調整が求められるので、手軽にできるわけではないのが苦しいところです。

【会長】ありがとうございました。他にご意見はないですか。

【委員】特になし。

【事務局】次回の運営協議会の開催は、令和９年２月２５日（木曜日)、生駒メディカルセンターを予定しております。

【会長】以上をもちまして、本日の協議会を終了させていただきます。長時間にわたり、大変ご苦労様でございました。